

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 15 年 8 月 12 日

上場会社名 株式会社 シンワ (コード番号: 2654 大証第二部)
 (URL http://www.shinwa-c.com/)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役 若本 淳二 (TEL:(06) 6683-3101)
 責任者役職・氏名 取締役管理本部長 山口 昇

- 1 四半期業績の概況の作成等に係る事項
 売上高 (又はこれに相当する事項) の会計処理 : 無
 の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 売上高 (単位: 百万円未満切捨)

	平成 16 年 3 月期第 1 四半期 (当第 1 四半期)	対前年同 四半期増減率	平成 16 年 3 月期第 1 四半期 (前年同四半期)	参考 前期 (通期)
売上高	百万円 6,192	% -	百万円 -	百万円 24,067

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

(2) 販売実績

当第 1 四半期の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。(単位: 百万円未満切捨)

事業の種類別セグメント の名称	平成 16 年 3 月期第 1 四半期 (当第 1 四半期)		参考 前期 (通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
	百万円	%	百万円	%
卸売事業	5,641	91.1	21,547	89.5
外食事業	550	8.9	2,519	10.5
合計	6,192	100.0	24,067	100.0

- (注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

[売上高 (又はこれに相当する事項) に関する補足説明]

当第 1 四半期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日) においては、一部の企業収益に改善がみられるものの、完全失業率も依然として高水準であり、長期化するデフレ不況や世界経済に対する先行き懸念等により景気は総じて厳しい状況が続きました。

当社グループの属する食肉卸売業界及び外食業界とも、デフレそして個人消費の低迷などにより、一層厳しい環境下にあります。

このような状況の中、当社グループは、「ヴィクトリーロード 55」をスローガンに掲げ、「高収益体質への変革」をテーマとして経営の改善を図っております。特に「卸売事業の営業力の強化」を経営方針の一つの柱とし、期初より積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、経営成績等 (連結) の概況は、次のとおりとなりました。

(参考) 四半期連結経営成績等の概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日) (単位: 百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 16 年 3 月期 第 1 四半期	百万円 6,192	百万円 73	百万円 49	百万円 69
平成 15 年 3 月期	24,067	194	57	37

(参考) 四半期個別経営成績等の概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日) (単位: 百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 16 年 3 月期 第 1 四半期	百万円 6,111	百万円 74	百万円 47	百万円 37
前期 (通期)	23,752	150	47	30

(3) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

(注) 当該四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

3 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

(単位：百万円未満切捨)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	12,000	103	110	20 49
通期	23,000	153	160	29 81

[業績予想に関する定性的情報等]

当第 1 四半期の業績結果を受けて、当中間期業績予想につきましては、売上高は全体的には概ね当初予想どおり推移しておりますが、利益面では特に高利益商材の政策販売等により、当初開示 (平成 15 年 5 月 16 日) 致しました予想より大幅に経常利益及び当期純利益とも上回る予想であります。

中間期以降の予想につきましては、牛肉・豚肉のセーフガード (緊急輸入制限措置) が 8 月 1 日に発動される等、消費動向に大きく影響を与える要因があるため、今後の業績見通しにつきましては非常に流動的であり、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

(注) 上記の業績予想は発表日現在における将来の見通し、計画の前提となる予測が含まれております。実際の業績は、今後の様々な不確定要因によって記載の数値と異なる可能性があります。

以 上